

リンゴの冬季せん定時の花芽整理と翌年の花芽着生

福島県農業総合センター 果樹研究所栽培科

1 部門名

果樹ーその他ー収穫

2 担当者

斎藤祐一、額田光彦、阿部和博、湯田美菜子

3 要旨

リンゴの冬季せん定時において、頂花芽果台から発生した新梢(10cm以下)の弱小花芽を除去する方法は、翌年に優良な短果枝花芽を形成するために有効である。

(1)この花芽整理は、頂花芽の果台から発生した10cm以下の新梢について、冬季せん定時に先端の弱小花芽を除去する方法である(図1)。

(2)この方法により、開花や果実肥大に使われる貯蔵養分の浪費を防ぎ、翌年に優良な短果枝花芽が形成される(表1、図2)。

(3)腋花芽着生新梢の除去(図3)や衰弱枝の除去(図4)は、花芽着生が少ない。



図1 頂花芽果台新梢の
弱小花芽除去方法



図2 弱小花芽除去新梢の
翌年の花芽着生



図3 腋花芽着生新梢の除去



図4 衰弱枝の除去

表1 弱小花芽の除去が花芽着生に及ぼす影響

	着果数 (個)	総頂芽数 (個)	優良花芽数 (個)
せん定処理	0.0	2.6	1.3
無処理	0.9	1.6	0.7
F値	6.3	10.9	17.9
有意性	ns	*	*

注)表中データは、調査果当たりの個数

注)短果枝で大きい花芽を優良花芽としその個数を調査した。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成20年度～26年度
- (2) 研究課題名 モモ・リンゴの低樹高化による省力・高生産栽培技術の確立
(リンゴの低樹高化による省力・高生産栽培技術の確立)
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料